カトリック山手教会月報

やまて

編集・発行　カトリック山手教会 広報委員会　〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎（045）641－0735　http://catholicyamate.org/
第６１６号　２０２１年6月13日

アウグスチヌス 水上健次神学生 助祭叙階式

４月25日（日）復活節第４主日（世界召命祈願の日）に山手教会聖堂でささげられた11時30分ミサのなかで、ラファエル梅村昌弘司教主司式による水上健次神学生の助祭叙階式が執り行われました。梅村司教は叙階式にあたり「助祭の務めは奉仕です。奉仕者として最小の労力で最大の利潤という経済の原則ではなくて、ひとかけらの利潤や利益が得られなくても最大の労力を惜しまないという姿勢で奉仕に務めていただきたい」と話されました。そして、梅村司教による按手の後、出身教会の山手教会主任司祭・鈴木真師により水上神学生にストラ（首から掛ける帯）とダルマチカ（祭服）が着せられ、最後に福音書の授与が行われて叙階式が終了しました。

また、東京カトリック神学院院長・松浦信行師の名代として、同学院の養成者（学務担当）浅井太郎師が祝辞を述べられました。助祭になられた水上神学生は「わたしが洗礼を受けたのは1995年です。まだ主に出会っていない人たちにキリストを伝えていきたい」と挨拶され、聖堂は久しぶりの山手教会出身の聖職者誕生に大きな喜びで満たされました。

水上健次新助祭、おめでとうございます。

新助祭より次の挨拶文を頂きました。

「助祭叙階のお恵みを頂きました。司祭召命への道を示してくださった天国の飯野雅彦神父さまに感謝。いつも心配してくれる母、亡くなる前に召命の道を応援してくれた父、そして理解してくれる弟と妹に感謝。この日のために準備してくださった山手教会の皆さまに感謝。キリストによって出会い、つながっている全ての人に感謝。神に感謝。」

自己奉献の姿勢をとる

按手

ストラをかけていただく

ダルマチカを着せていただく

福音書の授与

聖体授与

ミサ聖祭の準備

祝辞を述べられる浅井師

初めての聖変化

挨拶される水上助祭

見守る谷脇師

満面笑顔の水上助祭

（編集部：土方芳人）

堅信式

聖霊降臨の主日である５月23日（日）11時30分のミサのなかで、ラファエル梅村昌弘司教主司式による堅信式が行われました。

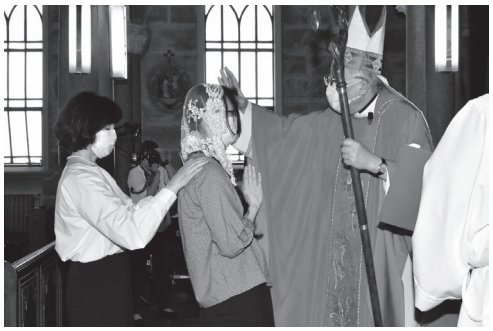
なお、今年も感染症防止のための人数制限により、ミサの参加者は、受堅者、代父母など関係者のみに限られました。

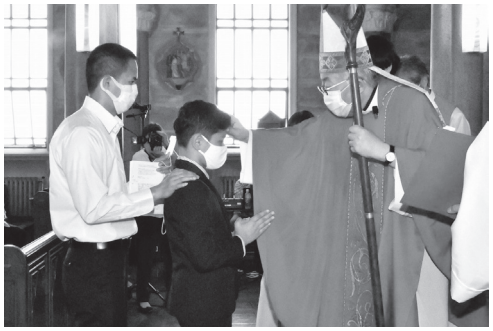
按手

受堅者は以下の方々です。（敬称略・順不同）

＜受堅者＞	＜堅信名＞
白木　優衣	フランシスカ
谷垣　凜奈	シエナのカタリナ
井澤　愛子	マルガリタ
井澤　詩織	フランチェスカ
坂上　恵	ベルナデッタ
中川　優香	クララ
戸塚　愛海	アンジェリカ
武田　登志子	マリア・ラファエラ
中井　歩美	Chloe Bernice
小山　航世	ヨゼフ
渡部　誠大	ロケ
Alyssa Jannah Chowdhury	Maria Alyssa
Lucky John Chowdhury	Lucky John
Jacek Antoni Ratajczak	Francis of Assisi
Jan Ignacy Ratajczak	James

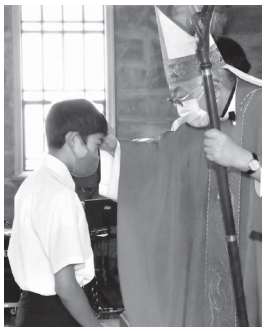
塗油





入堂

洗礼の約束の更新



共同司式によるミサ

司教様とともに

受堅者代表による共同祈願

ICCからの受堅者とそのファミリー

～受堅者の声～

13年前に受洗してから健康上の理由で教会に通えませんでした。堅信のことはずっと気になっていたのですが、生活も変わってしまったため、時間がかかりました。受洗に至るまで、そして、その後も代母として友人として私を支えてくださった今は亡き藤代捨子さんと、導いてくださった飯野神父様、そして、なかなか教会に通えず迷う私に堅信の道を示してくださった鈴木真神父様のおかげで今日の日を迎えられました。感謝の気持ちでいっぱいです。捨子さんがつけてくださった洗礼名を堅信名にしました。今は見えない絆でつながっていると感じています。これからも一緒に信仰の道を歩んでいきたいと願っています。

（編集部：撮影・田中麻子　土方芳人
文・田中麻子）

レジオ・マリエへのお誘い

100周年記念ロゴ
（世界共通）

レジオ･マリエ（Legio Mariae/The Legion of Mary）とは､1921年にアイルランドで数人の信者によって設立され、その後、全世界に拡大し、現在では約800万人の会員が活動しているカトリック教会内の使徒職グループです。設立以来、聖母マリアの精神に倣って、会員一人ひとりが霊性を深めながら、福音宣教を司祭とともに行っています。聖母マリアの精神とは、謙遜、完全な従順、優しさ、忍耐、寛容、そして絶え間ない祈りです。

山手教会プレシディウム（Praesidium：小教区におけるレジオ・マリエの基本単位）は『神の母聖マリア』と称し、1954年頃に発足しました。主な活動は、77歳以上の方への誕生日カード、70歳のお誕生日を迎えられた方へ小さな手作り品、ロザリオなどをプレゼントすることや、教会に来られない方々への『教会報やまて』の配付など、できる範囲の奉仕をマリア様のご加護を願いながら続けています。

定期集会ではロザリオの祈りと、活動経過の報告、分かち合いなどを行います。レジオ・マリエの活動は、人と人との関わりにおいて、聖母マリアの精神で行うならば、全てのことが活動の対象となります。

会員になるには、洗礼を受けた方であれば、男女を問いません。集会は、第１、３、４木曜日13時30分から司祭・信徒館で開いています。ロザリオご持参の上、ぜひ、ご参加ください。

主司式はラファエル梅村昌弘司教

聖母への個人奉献

お申し込みとお問い合せは、教会事務所までお願いします。

（文：金子栄枝、編集部 田中麻子／撮影：田中麻子）

聖堂にサーマルカメラを導入しました

ICC、ロザリオ会、ヨゼフ会の３者で費用を出し合い、サーマルカメラ（自動検温器）とアルコールディスペンサー（自動噴霧器）を購入しました。本来は教会で購入する備品かも知れませんが、各会ともコロナ禍で活動自粛の期間があり、会費の還元という意味も含め、教会への寄付という形にさせていただきました。

ワクチンの接種がようやく始まりましたが、まだまだコロナ禍の不安から抜け出せない状況の中、少しでもお役に立てればと思っております。購入費用（総額108,080円）は、各会の皆様の会費によるものです。この場を借りて御礼申し上げます。

自動噴霧器

自動検温器

＜購入者を代表して＞

（ヨゼフ会　会長　岡崎芳浩）

たずね人

墓地委員会では、山手教会にお墓や納骨堂を使用しておられる方々のうちで、住所が変わって連絡の取れなくなっている方を探しております。区役所などに問い合わせをしておりますが、次の方々の住所

が分かりません。

（敬称略・順不同）

川口節子・立川學・生悦住吉枝・丸山径子
宮守佳和子・村田淳一・渡邊澄子

これらの方々の消息をご存じの方がおられましたら、教会事務所（電話：045-641-0735）宛てにお知らせいただけると有り難く存じます。

（墓地委員会）

2021年５月度教会委員会議事録

日時：2021年５月２日（日）13：00～14：30
場所：教会ホール

議事内容（議事進行：太田委員長）

１　主な審議確認検討事案　※順不同

⑴　今後のミサと教会活動について

・今後「緊急事態宣言」が発出された場合の対応について予め決めておきたい。
・東京のカテドラルのネット配信のミサを見ているが、緊急事態宣言下にあっても普通にミサが行われている。緊急事態宣言において制限される指針について矛盾しているように思える。

①　東京は、各教会において判断されているように聞いている。カトリック麹町聖イグナチオ教会は、信徒不参加になっている。
②　関口教会では、所属信徒の人数が制限されたミサであり、緊急事態宣言中、制限は引き続き行われる。

【決定事項】

・神奈川県に対し「緊急事態宣言」が発出された場合、ミサに関して信徒不参加とする。
・ただし、聖週間について議論した際に決定した教会の行事については、人数を制限しつつ執り行う。＜５月23日（日）の堅信式など＞
・聖堂と教会ホールは閉鎖せず、事務所の受付時間に合わせて開けておく。

【５月23日（日）堅信式について】

・堅信を受けられる方は、15人程度。
・当日のミサへの参加は、代父母、聖歌隊、侍者などを合わせ55人程度の見込み。
・堅信式への家族の同席は、各１人に限定する旨を、５月８日（土）の堅信準備の会にて通知する。
・５月23日（日）のミサについては、会衆は、ご遠慮いただく。

【講座について】

・現時点では、予定どおり開講する。ただし、緊急事態宣言が発出された場合は中止する。

⑵　ウェルカムカード作成について

・150周年の際に作成した濱尾枢機卿様の絵が描かれた絵ハガキが300枚程度あり、このはがきにメッセージを印刷したウェルカムカードを作成してはどうか。
・これを教会に来られた方（観光や、参加制限を知らずに来られた方）に配布。
・まずは、100枚程度印刷して、案内係が来た方に渡していただきたい。
・文面については、原案を検討。
・山手教会のホームページのURLを掲載。
・100枚程度なので、事務所にて印刷を対応。

⑶　来年度水上助祭の司祭叙階式に向けての準備

・助祭叙階式を行ったばかりではあるが、司祭叙階式に向けての準備を行う必要がある。
・西村師については、７月に助祭叙階し、その直後に準備委員会の準備を始めている。
・当初は鷺沼教会のなかから５人程度を選出し準備を開始。
・他の叙階式についてヒアリングを行い、年明け早々にとりまとめ。
・発表を待たずして準備を行う必要はある。

【決定事項】

・教会委員会とは別に司祭叙階式に向けた準備委員会を立ち上げる。
・ただし、教区の動向（司祭叙階の決定は先のため）を伺いながら進める。
・第３地区でどのように呼びかけるかも検討する必要がある。
・まずは、三役にて検討する。

２　今後の活動

【ロザリオ会主催ミサ】

・５月７日（金）のミサは、予定どおり行う。

・パンの販売を行う。

【事務所から】

・シスター木村の講座について

①　外部の方（所属信徒以外）を対象とした講座などは、緊急事態宣言が発出されていなければ、開講しても良いものと考える。

・11月23日（火・勤労感謝の日）の修女連の集まりについて

①　参加者は20人程度と聞いている。

②　インターネットを通じて行う模様。

③　祝日のため、事務所も休みであるが、すべて当人たちで対応できるのかを確認。

④　休日で事務所が締まっているときの聖堂を使うガイドラインが必要。ただし、山手教会の所属信徒が関わる場合に限る。

・ボーイスカウトからの教会ホール等の使用の申し入れあり。

①　感染拡大防止の対応を行うことを前提に使う。

【聖歌隊から】

・先月の教会委員会で、今後、ミサで聖歌隊が聖歌を歌うことになった。これについてメンバーを組んでの練習の再開を考えているが、進めることに問題はないか確認したい。

①　典礼委員会のなかで話をしたが、11時30分のミサ以外での対応は難しいとの意見。

②　５月23日（日）の堅信式では、「聖霊の続唱」があることから、聖歌隊が対応することで変更なし。

③　２階のオルガニスト周辺が密にならないように配慮し、聖歌隊は２人程度に制限したほうが良いと考える。

④　日々の聖歌については、先唱と直前に打ち合わせを行い、何を歌うかを確認されたい。

３　報告事項：振り返り・気付き

【教会学校の開校について】

・教会学校の開校について案内ハガキを送付。

①　５月23日低学年。

②　５月30日高学年。

③　ただし、緊急事態宣言が発出された場合については、開校を見合わせる。

④　傷害保険については、早急に加入する。

【礼拝会より】

・ミカエラ寮が約35年の事業を終えた。

・ミカエラ寮で使用していた建物は、しっかりした造りであり、今後も何らかの形で使用できると思う。

４　主任司祭から

・４月29日（木・昭和の日）に上杉師の司祭叙階式に参加した。

・４月18日（日）に教区の「高校生の集い」を行った。参加者は８人。直接会えたことに参加者は喜んでいた様子。今後このようなつながりを途絶えないようにしたい。次回は７月頃を考えている。

・５月15日（土）に教区学連の学生たちの集まりを催す予定。参加者はピクニックを希望したが、教会ホール（13時～16時）を使用する。

・御聖体の宣教クララ会の創設者『福者　御聖体のマリア・イネス・テレサ』の聖遺物が、聖堂の左脇祭壇の聖櫃に安置されている。そのことで、クララ会シスターから創設者に関するカードを置かせていただきたいとの要請があった。

・横浜みこころ幼稚園から教会委員会に参加していただくように要請する。

・第３地区の司祭の集まりについて

①　保土ヶ谷教会の主任司祭が体調を崩し、ミサをささげることができない。

②　これまで保久師が司式してきたが、今後は第３地区の司祭でフォローする。

③　磯子教会については、谷脇師が小教区管理者、祖父江師が協力司祭である。

・10月の初旬に横浜司教区の懇談会が計画されている。懇談会については、各地区から1人の派遣となる。

５　次回教会委員会

６月６日（日）13時00分～15時30分終了予定

（総務担当　宮 裕一）

2021年６月・７月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

	主　日	聖　歌			聖歌隊	時　間	奉　仕　者				ミサ割当
		答唱詩編	アレルヤ唱	感謝の賛歌			オルガン	先　唱	聖書朗読		
６月20日	年間第12主日	典40 ⑥⑦⑧	典272 年間12B	ミサ曲1 典205		前日pm5：00	村　松	山本(康)	工藤(元)	志　村	夜ミサA
						７：30	渡　邊	末　澤	石川(喜)	中村(桂)	朝ミサA
					＊	11：30	手　塚	村田(義)	中　川	岩　隈	昼ミサA
27日	年間第13主日	典65 ①②③	典269 年間13B	ミサ曲1 典205		前日pm5：00	忠　海	田中(麻)	佐藤(篤)	阿　部	夜ミサB
						７：30	太　田	亀　井	仁井田	藤　本	朝ミサB
					＊	11：30	米　沢	藤原(ま)	川　田	鈴木(理)	昼ミサB
７月４日	年間第14主日	典116 ①②	典272 年間14B	ミサ曲1 典205		前日pm5：00	村　松	竹之内	新井田	島　田	夜ミサA
						７：30	手　塚	石　川	鈴木(幸)	鈴木(由)	朝ミサA
					＊	11：30	中　川	佐藤(篤)	鈴木(理)	大　澤	昼ミサA
11日	年間第15主日	典81 ③④⑤	典269 年間15B	ミサ曲1 典205		前日pm5：00	藤　沼	斎　藤	鈴木(明)	福　田	夜ミサB
						７：30	中　川	二　宮	東海林	時　久	朝ミサB
					＊	11：30	佐　藤	遠　藤	石　田	中　野	昼ミサB
18日	年間第16主日	典123 ①②④	典272 年間16B	ミサ曲1 典205		前日pm5：00	村　松	山本(康)	工藤(元)	志　村	夜ミサA
						７：30	渡　邊	末　澤	石川(喜)	中村(桂)	朝ミサA
					＊	11：30	手　塚	村田(義)	中　川	岩　隈	昼ミサA
25日	年間第17主日	典18 ⑤⑦⑧	典269 年間17B	ミサ曲1 典205		前日pm5：00	忠　海	田中(麻)	佐藤(篤)	阿　部	夜ミサB
						７：30	太　田	亀　井	Sr.荻原	藤　本	朝ミサB
					＊	11：30	米　沢	藤原(ま)	川　田	鈴木(理)	昼ミサB

（注）・コロナ禍の続く時期、今後暫らくの間、ミサ中の聖歌は少人数の聖歌奉仕グループによって　歌われます。(メンバーは別途)
会衆の皆様は声を出して歌わず、共に心の中で歌い祈りましょう。
当面は11：30のミサで「答唱詩編」、「アレルヤ唱」、「感謝の賛歌」のみを歌います。

・「子どもとともに、ささげるミサ」は当分ありません。

編　集　後　記

鳥たちは、おじさんを待ちわびていました。ある日曜日、教会へ行く途中で近くの公園にさしかかると、自転車のハンドルに３つの大きなビニール袋を下げた60歳くらいの男性が、ちょうど公園内に入って行くところでした。すると、まだ彼が自転車のペダルをこいでいるのに、20羽程度のハトが彼の周りに集まって来たのです。自転車が止まると、ハトが彼の足元にどっと押し寄せ、さらに、スズメも10羽程度集まってきました。すると、彼は足元に絡みついているハトと５メートルくらい離れた場所にいるスズメめがけて白い粒をばらまいたのです。それは米のようでした。その様子を近くで眺めていたカラスが、あっという間に20羽くらい集まって来て周囲の樹木の枝に止まり、羨ましそうに眺めていました。彼はカラスが集まって来ているのに気が付くと、パンの耳らしきものをちぎって投げ与えていました。人間が野鳥に餌を与える行為については賛否両論ありますが、野鳥たちが彼を待ちわびていたことは確かでした。また、このケースとは別ですが、横浜公園には恒常的にスズメやハトに餌を与えている人が小生が確認しているだけで４人程度います。ほとんどの人が後期高齢者と思える男性で、時間をかけて少しずつ餌を与え、野鳥たちと戯れています。もしかしたら、野鳥以外に相手をしてくれる人がいないのかもしれません。　（土方芳人）

☆表紙のカット（山手教会）は、濱尾文郎枢機卿様の「えはがき」です。